

日本動物学会平成 28 年度東北支部大会

一般講演プログラム

発表 10 分・討議 2 分

7 月 23 日 (土)

13:00-13:10 開会式

セッション 1

座長：西野敦雄 (弘前大・農学生命)

- 1 13:10-13:22 致死性病原性アメーバ・フォーラーネグレリアの青色光受容タンパク質の解析
○伊澤佑香¹、安川洋生² (1岩手大・教育学部、²岩手大・応用生命科学系)
 - 2 13:22-13:34 アカハライモリ精子の運動調節における T 型 Ca²⁺チャネルと TRP チャネルの役割
○佐藤多恵¹、渡邊明彦²、渡辺絵理子³ (1山形大院・理工・生物、²山形大・理・生物、³山形大・基盤教育)
 - 3 13:34-13:46 *N*-Methyl-*N*-Nitrosourea (MNU)により誘導される視細胞変性機序の解明
○竹沢翼、菅野江里子、田端希多子、三戸啓、菊地彩花、富田浩史 (岩手大・理工)
 - 4 13:46-13:58 分子シャペロンを用いたグルタミン酸毒性に対する細胞死抑制効果の検討
○美濃部珠江¹、菅井晶久²、菅野江里子²、菊地彩花²、田端希多子²、富田浩史²
(¹岩手大院・工、²岩手大・理工)
 - 5 13:58-14:10 なぜ鯉には金魚でみられる二又に分かれた尾ひれが生じないのか？
○阿部玄武^{1,2}、Shu-Hua Lee²、Ing-Jia Li²、Chun-Ju Chang²、田村宏治¹、太田欣也²
(¹東北大院・生命科学、²中央研究院・ICOB)
- 14:30-16:50 高校生による科学研究発表 (13 件) (12 ページ参照)
写真撮影

セッション 2

座長：渡邊明彦 (山形大・理・生物)

- 6 17:20-17:32 ゼブラフィッシュ尾鰭再生過程における双葉型形態の再生
○植本俊明、阿部玄武、田村宏治 (東北大院・生命科学)
 - 7 17:32-17:44 様々な培養系を用いた、四肢形態形成の複雑さへのアプローチ
○北嶋慶一、阿部玄武、田村宏治 (東北大院・生命科学)
 - 8 17:44-17:56 マボヤ胚生殖細胞系列における転写制御機構の解析
○宮奥香理^{1,2}、中本章貴¹、西田宏記²、熊野岳¹ (1東北大院・生命科学・浅虫海洋生物学教育研究センター、²大阪大院・理)
 - 9 17:56-18:08 カタユレイボヤ幼生の遊泳運動を生み出すパターン発生器の性質の解析
○原隆志、西野敦雄 (弘前大院・農学生命科学)
 - 10 18:08-18:20 ホヤ幼生筋は興奮性と抑制性の二重神経支配をうけるのか？
○西野敦雄、西野純子 (弘前大・農学生命)
- 19:30- 懇親会

7月24日(日)

セッション3

座長：田村宏治(東北大院・生命科学)

- 11 10:00-10:12 ゾウリムシ(*P. caudatum*)のヘモグロビン遺伝子近傍のDNAメチル化解析
○西山学即¹、望月和樹²、松岡有樹¹、見上一幸³、山内清志⁴(¹福島医大・医、²山梨大・生命環境科学、³宮城教育大、⁴静岡大・グリーン科学技術研究所)
- 12 10:12-10:24 酸素センサータンパク質 YddV のグロビンドメインの構造解析
○五十嵐城太郎、松岡有樹(福島医大・医)
- 13 10:24-10:36 ショウジョウバエの攻撃と求愛の切替を行う脳内神経回路
○小金澤雅之、山元大輔(東北大院・生命科学)
- 14 10:36-10:48 慢性閉塞性肺疾患におけるセクレトグロビン 3A2 の効果の検証
○小野荘太郎¹、木下昂宗²、荒井康子²、阿部宏之¹、黒谷玲子¹(¹山形大院・理工・バイオ化学工学専攻、²山形大・工・バイオ化学工学科)
- 15 10:48-11:00 セクレトグロビン 3A2 のマクロファージ遊走促進効果
○佐竹彬¹、小野荘太郎²、木下昂宗¹、阿部宏之²、黒谷玲子²(¹山形大・工・バイオ化学工学科、²山形大院・理工・バイオ化学工学専攻)

11:10-11:40 総会

公開シンポジウム

13:30-16:30 親子で楽しむ動物学 16
「特定外来生物ウチダザリガニの駆除活動」

場所：西郷村文化センター

対象：小学校高学年(4~6年生)の親子 15組

講師：塘 忠顕 (福島大学)